

児の入院に対する母親の心理的反応の推移

中村	孝	(静岡県立こども病院)
大久保	俊夫	(")
北野	市子	(")
成島	澄子	(")
保住	幸子	(")
内藤	キヨ	(")
南雲	康代	(")
岡村	暁美	(")
荒井	留美子	(")

研究目的

こどもの病気・入院が母親意識にどのように反応し、母親をどのように変化させてゆくかを探り、よりよい小児医療のあり方を求める助けとするため、また低体重児を出産し、分離入院となった母親がどのような過程をとって母親像を形成してゆくかを求め、新生児保育の参考にする目的で本調査を行なった。

研究方法

今まで元気であった小児が、急に病気になり、しかも重症で入院をすすめられた場合の母親の心理状態を求めるために、感染症病棟に入院してくる児の母親を対象にし、アンケート方式で解答を求めた。設問は32項目である。各項目毎に、よくあてはまる、かなりあてはまる、少しあてはまる、全然あてはまらないの4段階の解答を求め、それに、3、2、1、0の評点を与えて統計処理を行った。解答は入院時、入院中、退院時の3回求めるようにした。

質問項目には、I. 疾患・障害には関係なく母性意識を表現していると思われるもの、II. 疾患障害に直接関係あるもの、III. 母子分離に関係あるものの3項目に該当する設問がとり入れられている。

研究結果

まだ症例が少なく、入院時が15例、退院時まで追求出来たものが9例でしかないので結論は得られない。15例の内訳は、乳児7、幼児3、学

童5であり、疾患は全身的疾患、呼吸系、尿路系神経系などさまざまである。

入院時と退院時を比較し、有意性のみられた項目は表1の如くであり、病気がショックであった、状態が心配でしょうがないの2項目は当然のこと乍ら、入院時に高かった、育児に自信があるが退院時に増加し、一人で育てる自信がないが、退院時に減少している。

早く気づいていればよかったという反省は入院中に増加し、退院時にはやや低下する。この病気のことを周囲に知られたくないが入院時に少しみられる。こどもが寂しがっていると思うといってもたってもいられないは入院が続くにつれて次第に減少するが高い評点を示している。この子の世話にもっと参加したいも入院以降徐々に下降し、退院時には半数以下となる。

設問を更に、母親としての意識、母親の不安・心配、面会について、母親をとりまく環境、に分類してみると、有意性のある項目は、母親の不安・心配の部に多かった。

考案

調査を開始して日が浅いので十分な解答数が得られず、正確な推移は分らなかった。然し、小児専門病院に入院という事態は母親に大きな不安、心配を与えていることがうかがえる。心配が大きいため、その他の母性意識が表現出来ない状態も考えられる。また、地方では母親の付添なしの入院という形式が珍らしいので、分離に対して心掛のなかったことも推察出来る。今後は、児の入院

ということによって、母親の育児態度にどんな変化がおこったかも調査する予定である。

表一. 有意性のみとめられた項目

(* p < .2, ** p < .1, *** p < .05)

カテゴリー	No.	Item	入院時 (n=15)		入院中 (n=7)		退院時 (n=9)		t		
			\bar{x}	s	\bar{x}	s	\bar{x}	s	入-中	中-退	入-退
I	6	自分のやりたいことができない	.7	.87	0	0	.1	.33	1.93**	-.88	1.77**
	12	1人で育てる自信がない	1.0	.97	.4	.49	.7	1.00	1.41*	-.57	.79
	30	育児に自信がある	1.5	1.02	1.9	.64	2.1	.78	-.73	-.68	-1.42*
	32	満足で温かい気持ち	2.5	.72	2.0	.93	2.6	.53	1.23	-1.44*	-.32
II	7	病気を否定したい気持ち	1.0	1.03	.3	.45	.6	1.01	1.67*	-.64	1.00
	11	病気がショック	2.3	1.06	2.0	1.06	1.1	1.05	.52	1.61*	2.53***
	14	家庭の中で嫌な思いをした	.1	.34	.6	1.05	0	0	-1.39*	1.53*	1.13
	18	早く気づいていればよかった	1.5	1.02	2.1	1.12	1.2	1.20	-1.33*	1.51*	.52
	20	病気を周囲に知られたくない	.3	.57	0	0	0	0	1.17	0	1.34*
	27	病院以外で見聞きしたことで(病 気について)気になることがある	.7	.94	.7	.70	.2	.44	-.11	1.63*	1.28
III	8	心配だから面会に来る	2.9	.10	2.4	.73	2.3	1.12	1.57*	.19	1.60*
	9	Dr.Ns.がどう 接しているかわからない	.9	.88	.6	1.05	.3	.71	.65	.52	1.50
	13	寂しがっていると思うと いてもたってもいられない	2.3	.94	1.6	.90	1.4	1.24	1.71*	.22	1.96**
	21	状態が心配でしょうがない	2.3	.87	1.6	.73	1.4	1.13	1.92**	.25	2.13***
	25	世話にもっと参加したい	1.8	.91	1.7	.88	1.1	1.27	.20	1.05	1.52*
	29	苦しんでいるのを見るのがつらい	.3	.60	0	0	.3	1.00	1.41*	-.88	0

入院中の子どもをもつおかあさんへ

家庭から離れて病院に入院しているお子さんのおかあさんは、色々な心配や不安をおもちのことと思います。この用紙は、入院中の子どもをもったおかあさんが、普段どのように感じていらっしゃるかを聞き取るためのものです。

どの項目も、子どもをもった母親が普通感じる事が書いてあります。どのように感じる事が良いとか悪いとかいうことはありませんので、できるだけありのままにおこたえ下さい。

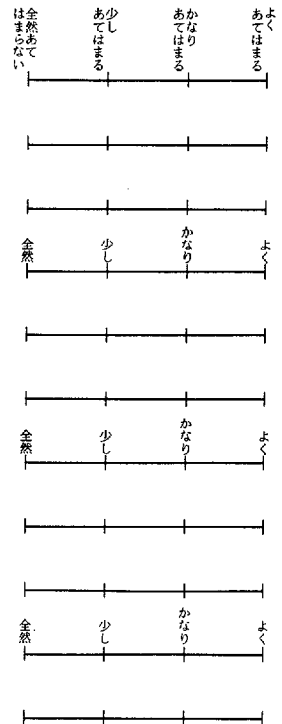
やり方

1. 次の各文章が、あなたにどれくらいあてはまるかの程度を、「よくあてはまる」、「かなりあてはまる」、「少しあてはまる」、「全然あてはまらない」の4つのうちから1つ選んで○印をつけて下さい。
2. 1番から順に1つずつ記入して下さい。
3. あまり考えすぎるとわからなくなりますので、できるだけ早く、思いついたままにつけて下さい。もし、どうしても決められない場合でも、最も近いと思われる所に○印をつけて下さい。

例. 看護婦はこの子をかわいがってくれると思う。



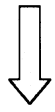
1. この子にとって私は大切な存在だと思う。
2. この子が病棟になれるかどうか心配である。
3. この子を育てる上で自分を支えてくれる人がいる。
4. 忙しいからこの子の面会に来れない。あるいは、面会に来てても長い時間はいられない。
5. この子の状態についてよくわからない。
6. この子があるので自分のやりたいことができなくてあせる。
7. この子の病気（又は障害）を時々否定したい気持ちになる。
8. この子のことが心配だから面会に来る。
9. 医者や看護婦がこの子にどんなことをしているのかわからない。
10. この子がわずらわしく思える時がある。
11. この子の病気（又は障害）がショックである。



12. この子を私一人で育てる自信がない。
13. この子が寂しがっているかと思うといてもたってもいられない。
14. 家庭の中でこの子に関していやな思いをしたことがある。
15. 面会時間の終わりにこの子に泣かれるのがつらくて面会には来たくない。
16. この子がいることを一瞬忘れてしまうことがある。
17. 病院に対してこの子のしつづけを期待する。
18. もっと早くこの子の状態に気がついていればよかったと後悔する。
19. 私でなければこの子のことはわからない。
20. この子の病気（又は障害）を周囲に知られたくない。
21. この子の状態が心配でしょうがない。
22. 私はこの子を育てるのにふさわしい母親だと思う。
23. 少しでもこの子の状態が良ければ早く退院させたい。
24. この子の発育や知恵が遅れるのではないかと気になる。
25. この子の世話にもっと参加したい。
26. この子が助かるかどうか不安である。
27. この子の病気（又は障害）について病院以外で見聞きしたことで気になることがある。
28. この子が入院してから、この子の存在が遠くなってしまったように感じる。
29. この子が苦しんでいるのを見るのがつらくて面会に来たくない。
30. この子の育児には自信がある。
31. この子には何もしてやれないのではがゆい感じがする。
32. この子の世話をしていると自分も満足で温かい気持ちになる。

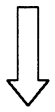
	全然あてはまらない	少しあてはまる	かなりあてはまる	よくあてはまる
12.				
13.				
14.				
15.	全然	少し	かなり	よく
16.				
17.				
18.	全然	少し	かなり	よく
19.				
20.				
21.	全然	少し	かなり	よく
22.				
23.				
24.	全然	少し	かなり	よく
25.				
26.				
27.	全然	少し	かなり	よく
28.				
29.				
30.	全然	少し	かなり	よく
31.				
32.				

御協力ありがとうございました。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

こどもの病気・入院が母親意識にどのように反応し、母親をどのように変化させてゆくかを探り、よりよい小児医療のあり方を求める助けとするため、また低体重児を出産し、分離入院となった母親がどのような過程をとって母親像を形成してゆくかを求め、新生児保育の参考にする目的で本調査を行なった。